

科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会（第13回）議事要旨

- 【日時】 平成22年2月1日（月）9:30～12:30
【場所】 日本学術会議 5-A（1）会議室
【出席者】 岩澤委員長、山本副委員長、海部幹事、長野幹事、浅島委員、山岸委員、永宮委員
事務局：古西参事官 他

【議題】

- 1) 前回議事要旨（案）確認
- 2) 学術の大型施設計画・大規模研究計画最終リスト案の取りまとめ
- 3) 提言素案の検討
- 4) 今後の進め方について
- 5) その他

【資料】

- 資料1 前回議事要旨（案）
資料2-1 人文・社会科学分野 課題説明部分案
2-2 生命科学分野 課題説明部分案
2-3 理学・工学分野 課題説明部分案
（①永宮委員ご担当分、②平委員ご担当分、③海部委員ご担当分）
- 資料3 学術の大型・大規模計画マスタープラン案
資料4 提言素案（第1次案）
資料5 今後の進め方について（案）
- 参考1 委員名簿
参考2 課題説明部分様式
参考3-1 学術の大型施設計画・大規模研究計画リストアップ基準案
3-2 今後のまとめ方（方針）

議事

- 1) 議題2)、資料2-1から2-3及び資料3については非公開審議とする事が委員長より提案され、了承された。
また、前回の議事要旨（案）について諮られ、了承された。

2) 議題2. 学術の大型施設計画・大規模研究計画最終リスト案の取りまとめ

この件につき、以下の審議・決定を行った。

①「各個別計画の説明資料について」:

前回分科会での議論及び指摘事項に基づき、担当各委員より、各計画説明資料（各2ページ）の改訂版を含めた報告と検討が行われた。その結果、個別計画課題については各分野ともすべて今回の提案通りとすることが了承された。ただし環境・地球科学の分野では、その特性により各計画の統合的な推進がとりわけ重要との視点から、少なくとも当面は関連する複数の計画をまとめて、少数の大きな課題のもとに示すことが了承され、その旨を一覧表などに付記することとした。また説明資料において、略号の説明が欠けている、タイトルのわかりやすさ、分野外の読者に配慮した本文のわかりやすさ等において改善が必要なものがあることが指摘され、2月10日までに各担

当委員から事務局に最終版を提出し、次回分科会（2月15日）に確定する。

② マスタープランの計画課題一覧表について：

計画課題一覧表（マスタープランのリスト）について検討の結果、大型施設計画、大規模研究計画を同一のリストに分野ごとに整理して記載し、カテゴリーA(大型施設計画)、カテゴリーB(大規模研究計画)の区分をつけることとした。また、新たなフォーマットによる一覧表を早急に作成することとし、経費の欄では建設経費と運用経費の明記、年次計画の欄では建設期間と運用機関の明記、国際協力の欄においてはそのレベル、また大規模研究計画においては計画概要の欄に中核拠点の形成を目指すかどうか、などを簡潔に記入できるよう、一覧表のフォーマットを事務局と海部委員で整理し各担当委員に送付の上、それぞれ担当の計画責任者に依頼して、2月10日をメドに事務局に寄せ、次回分科会で決定する。

③ マスタープラン計画説明資料・計画課題一覧表の取り扱いについて：

この段階では、各計画の順位付けをリストに反映することはしない。またそのことを、リストには付記する。説明資料と一覧表は、2月15日の時点で分科会として最終決定する。またその後できる限り早く各方面での利用に供することができるように、学術会議としての了解を得る。

3) 提言素案の検討

この件について、以下の審議・決定を行った。

① 報告書のとりまとめについて：

報告者は、2月25日の幹事会に提出することを目標とする。そのため、岩澤委員長、長野委員などの本文原稿はできるだけ早期(2月8日まで)に事務局・各委員に送付し、各委員からの修正意見は2月10日までに岩澤委員長、各委員および事務局に連絡する。事務局では10日段階での変更を反映させ、15日の次回分科会に提出する。次回分科会での決定を受けて、ただちに科学者委員会の査読委員に回し、その見解をできるかぎり反映させたバージョンを25日幹事会に提出するのが、目標である。

② 報告書のタイトルと章立てについて：

報告書タイトルを『我が国の学術の大型施設計画・大規模研究計画の企画・推進策の在り方とマスタープラン策定について』とした。本日提案の章建てを、以下のように一部変更した： 第6章「学術の大型施設計画・大規模研究計画のマスタープラン」は(1)(2)の区分をやめて一つにまとめ、本日決定した新たなフォーマットの一覧表を基本に、分野ごとにまとめて記載する。また提案の第7章と第8章をまとめて第7章「個別計画課題の説明」とし、分野ごとに整理する。これに伴い、「結語」は第8章とする。

③ 報告書における「大型施設計画」への統一、及び予算総額基準の設定について：

本分科会では、当初の調査等では「大型施設(装置、設備を含む)」という明確な定義により基本的に「大型施設計画」を用いていたが、審議の途中で「大型装置計画」という言葉を使ったこともあり(例えば『大型装置計画リストアップ基準』)、分野によっては誤解や混乱の恐れがあることが指摘された。報告書における統一について検討した結果、これまでの経過と一般の使用概念等を考慮し、報告では改めて「大型施設計画」で統一することとした。ただしその内容と一部資料における別表現の使用等については、本文あるいは注記により明確にすることとした。また、リストアップ基準において定めた大型施設計画の予算のめど(建設費総額100億円以上、ただし分野によっては数10億円以上)についても、本文で経過を記載することとした。

④ 報告書の結語について：

ここには、主に今後の分科会及び学術会議の大型施設計画・大規模研究計画に関する対応を中心として以下の諸点を盛り込み、そうした活動のプラットフォームとしての本分科会の今後の機能についても述べる。

1) 大型施設計画・大規模研究計画のさらなる予算化や実施に向けての学術に根差した

- 適切な選定のプロセスと、日本学術会議が果たすべき役割についての検討
- 2) 各分野における計画の実現、従来の縦割りを極力排した総合的で効果的な大型施設計画・大規模研究計画の実施のための、日本学術会議・学術コミュニティからの支援の強化
 - 3) マスタープランの引き続く改定。大規模な改定は3年をめどとすることが考えられるが、現在は初期的段階にあることから、当面は今から1年後に小規模な改定、2年後に大規模改定を行う方向で具体的に検討
 - 4) それに向けての各分野等の学術コミュニティーにおける一層の議論と検討の推進

4) 今後の進め方について

当面のスケジュールは、以下のとおりとする。

① マルチプランの個別計画説明資料 (各2ページ)

各担当委員において、指摘事項に関する修正 (必要なら計画責任者に依頼)

2月10日まで: 事務局に送付

2月15日: 第14回分科会で最終承認、できる限り早く各方面で利用

② 新たなフォーマットのマスタープラン計画課題一覧表

2月2-3日: フォーマットを事務局から各担当委員に送付、担当委員から各計画責任者へ記入依頼

2月10日まで: 各担当委員方から、記入済みフォーマットを事務局に送付

2月15日: 第14回分科会で了承、できる限り早く各方面で使用

③ 報告書

2月8日まで: 欠けている原稿 (特に岩澤委員、長野委員) を各委員、事務局へ送付

2月10日まで: 各委員の意見を各委員、事務局へ送付、事務局で整理

2月15日: 第14回分科会で案として了承、査読委員へ送付 (査読期間は1週間)

2月25日: 査読を反映させた案を、幹事会に提出

遅くとも3月25日の幹事会で正式決定を図る。

④ 今後の審議、方向性

上記3)-④でまとめた内容を含めて、次回具体的に検討する。

5) その他

当面日程が決まっている今後の分科会スケジュールは、以下のとおり。

第14回分科会 2010年 2月15日 (9:30~12:00)

○分科会報告修正案の検討、了承 → 幹事会 (2月25日) に提出

○今後の分科会の活動の課題と計画について

第15回分科会 2010年 3月18日 (10:00~12:00)

○分科会報告最終案の検討、了承 → 必要な場合幹事会 (3月25日) に再提出

○今後の分科会の活動の課題と計画について (継続)

総会で報告 (4月 5~6日)

以上